



中国情報 (INFORMATION CHINA)

2010年10月号

発行所：国際ビジネス情報協同組合

今回の尖閣諸島沖での事件を機会として、「日本人としてのものの考え方」「政治がどうあるべきか」「戦後の日本の教育はこれでよかったのか」「よき伝統は守られているのか」「なぜ国を守らなければいけないか」「日本人としてのアイデンティティとは」など、改めて考える必要があります。

組合では、10月8日から18日まで面接会と送出し機関側との監理方法の打ち合わせで中国青島へ行きます。10月の面接会については既に締め切らせて頂きましたが、11月の面接会をご希望される場合はお早めにお問い合わせ致します。

また、実習生の受入国として中国だけではなく、ベトナムやカンボジアを調査中ですが、現在の状況では危険が大き過ぎるとの情報が多くあります。一番の理由としては『失踪率』が高いことです。

この問題を出来る限りクリアすべく、多くの送出し機関を訪問し改善策を模索していく所存でございます。

バカ殿出現!!

サムライの心を大事にしてきた伝統のある日本国に「バカ殿」が出現しました。

そのお殿様は馬鹿で、家老も馬鹿で民衆の言うことには耳をかきません。国で一番大切なことは「領土を守る」ことです。自分の領地内で起きたことも、隣国から恫喝されれば「すみません、あなたの言うとおりに」「言うとおりにしましょう。」またその領土を遠い国の殿に、「私の国を守ってください」とお願いしていますが聞いてくれません。絵に描いたような「バカ殿」そのものです。

その上、相手国から「慰謝料よこせ」なんて言われて、ようやくこれではいけない、慰謝料はだめですよなんて・・・バカにつける薬はありませんか？

さて、このバカ殿は誰でしょうか？

この国はどうなるのでしょうか？

何かしら豊臣と徳川との戦い（大阪城陥落）とよく似ていますね。

組合スタッフのブログ：<http://ibia.blog6.fc2.com/> コツコツ更新中！



尖閣諸島の沖で発生した事件

あらまし

9月7日、尖閣諸島沖に日本の領海内において、魚網を入れようとした中国漁船に対し海上保安庁の巡視船「よなくに」は、領海から立ち去るよう警告したが漁船は「よなくに」に接触して逃走した。海保は漁業法に基づく立ち入り検査を行おうと無線などで再三にわたり停船を呼びかけたが、漁船は逃走を続け、さらに別の巡視船「みずき」に船体を衝突させた。

これが意図的な海上保安官の立ち入り検査妨害だとして公務執行妨害容疑で漁船船長は逮捕されました。日本の海上保安庁では船長と乗組員を逮捕しましたが、現在は乗組員及び船舶を中国に返還しています。

公務執行妨害で起訴すべく勾留されるはずの期限は29日までありました。

中国政府

中国政府はこれに反発し、温家宝首相は即時無条件釈放を求め、駐中国大使への抗議、大使館へのデモ、閣僚級の会談、スポーツ・旅行や文化交流の停止、ガス田開発の交渉中断、レアアースの日本への輸出停止(?)などありとあらゆる恫喝、嫌がらせをしてきています。

その意図は、目的は?

1. 直接的には、船長を無条件で保釈する・・・これは直接的
2. 周辺地域で既成の事実を作り、これを積み重ね尖閣列島を実行支配していこうとしている

日本政府

「冷静に対応する」(菅総理)と言って何もしない。何もしないのは、「冷静と言うことらしい」これが日本政府のやり方です。何かしたとしたなら、何も救ってくれないことは分かっているオバマ大統領に「日米の安保は尖閣諸島を含む」と認めさせただけです。

論評)

今回の事件ではっきりと分かったことは、中国の一方的な強圧的な態度であり、この目的は海洋における主権の拡大にあることは明らかであります。

加えて、日本政府の対応は説明もしないし、ビデオも見せない。増してや領海内なんて世界にアピールしていない。中国の出方を見ているだけであります。

永い間の「謝り外交」がこのような問題を引き起こしたといっても過言ではありません。当然、今回の問題は「冷静に対応」しなければならないでしょうが、「毅然たる」態度で「はっきりと日本の考え方を主張する」ことは必要です。

組合スタッフのブログ：<http://ibia.blog6.fc2.com/> コツコツ更新中！



中国情報 (INFORMATION CHINA)

東南アジアでは

南沙諸島では、大油田が発見されたが、中国・ベトナム・マレーシア・台湾・フィリピンなど国境が入り組んでおり、しかも海運の通常のルート(シーレーン)でもあります。中国はこの海域でも軍事施設を造り、一方的に領有権を主張しています。

東南アジア諸国では、このような中国の強硬な姿勢に対し苦々しい思いをしていると同時に、「尖閣諸島の問題」に日本政府が如何に解決するか注目していました。

交渉ごと(対中国・中国人)

中国との交渉とは、日本人として、次の諸点を考慮して行わなければなりません。

1. 中国、中国人は、交渉が崖の淵に立たされるまでは、交渉ではない。これまでは相手の腹の探りあいである。・・・前哨戦
2. 危険負担を避けるため、必ず代替のものを有していなければならない。
例えば取引先は、1社だけでなく、数社が必ず必要である。
3. 謝るのは負けたこと(ひれ伏すこと)、従って、相手の望みどおり以上のことをしなければならぬことを心に留めなければならない。
4. はっきりと自身(日本側)の主張をしなければなりません。
日本の「あ・ん」は全く通用しません。
5. 針小棒大に相手が言うてくるが、これを気にしてはならない。

例：白髪三千尺、駿馬1日千里走る、南京大虐殺(30万人・その時の人口20万人)

まだまだありますが、これが、日中の交渉ごとに大切です。だからと言って、悪意を持って接するべきではありません、「交渉」なのです。

これを書いている最中に「那覇地検が24日、尖閣諸島近くの日本の領海で操業し、海上保安庁の巡視船に自船をぶつけたなどで逮捕された中国人の船長を「処分保留」で釈放すると発表があったとのニュースが飛び込んできました。」

世界、東南アジア諸国は

世界各国、特に東南アジアが見ている中、この弱腰と日本国としての意識の欠如、日本政府は本当にバカなことをしたものです。これによって、中国は尖閣列島への漁業などへの実績、事件を積み重ね、実行支配していこうと考えていることは、間違いありません。

また次に、中国の漁船が入ってきたらどう対処するのか、バカも休み休みにしてほしいものです・・・きっと必ず来る。

領有権を犯されても、「謝っている」、「日本人の日本人たる誇り、死んでも守らなければならないものもある」「武士、侍の心」は何処に行ってしまったのでしょうか？

組合スタッフのブログ：<http://ibia.blog6.fc2.com/> コツコツ更新中！



中国情報 (INFORMATION CHINA)

そればかりでなく、世界に対する日本への信頼が揺らいでしまいました。

何を血迷っているのだ、まだ懲りもなく「謝り外交」を続けて、間違っている、間違っていないでも「謝ればいい」と言うものでない。はっきりと日本の主張をしなければならない。何でも国益に反するなどと言って誤魔化したり、相手は「日本の弱腰につけはいつてくる兵（つわもの）です」国において一番大切なことは「領土を守ること」です。

これは石原自民党幹事長の弁を待たなくても、「歴史に残る大失態」であり、検察が「政治的判断」をするなど、全く言語道断、バカも休み休みにしてほしいものです。この内閣は、万死に値する「バカ内閣」で、こんな人たちは「売国奴」と言われても仕方ありません。「恫喝されれば謝る」と言う姿勢は、必ず、国を滅ぼし、日本国民を滅ぼします。

円・ドル・元はどうなる？

円

為替相場は、円は菅首相が再選されたその日、9月14日にはニューヨークでは、82.92 銭になりましたが、これは15年ぶりとのことです。これには動きの遅い政府や日銀もたまらず、翌日の9月15日に6年半ぶりの為替介入に踏み切りました。その結果一時は85円半ばまで下落しました。

本日（9月24日）現在では94.50 銭であります。9月15日には1日、過去最高の2兆円規模の日本単独を行いました。日銀は単独介入で市場に出される円を放置し、金融緩和につなげるとしています。単独介入でひとまず効果が上がっていますが、下記のこと問題点として浮かび上がってきました。

1. 欧米からは積極的にも消極的にも支持を得られたものでない。
2. アジア諸国についても同様である。
3. 外国為替市場では、東南アジア各国通貨の自国通貨売りが加速する可能性があり、特に中国には元安の口実を与えたことになる。

これらの原因は、政府において経済の成長戦略の推進などの抜本的対策がなされていない、危機的である。今回の介入は言わば小手先の一時的なもので、抜本的対策が講じなければ円高圧力が起こることは間違いない。法人税率の引き下げや、規制の緩和、サービス業の生産性の向上など長らくの問題を如何に解決していくかが鍵になるのではないだろうか。言い換えれば、ばら撒きや選挙ばかりに

気をとられ、基本的な施策がおざなりにされている民主党に果たして出来るのか心配であります。

ドル

オバマ政権は、安いドルを基調にしているが米国の景気は一向に良くなっていない。それ故に米の経済政策の修正余儀なくされ、主要なスタッフの入れ替えが現実を帯びてきた。米国のサマーズ国家経済会議委員長が退任し、同政権発足時からの主要なスタッフはガイトナー財務長官のみとなります。その上、クリントン国務長官とバンゼン副大統領が入れ替わるという話まであります。主要なポストにある者の殆ど全部入れ変わるというこれまでにない大改造です。少なくとも今回のゴタゴタで、少しの時間は経済の建て直しが出来るとは考えられないでしょう。



元

中国は人民元の国際化に向けた動きを着々と進めている。

ドル、ユーロ、円、ポンド、香港ドルが対象であったがこれに加え、マレーシアやロシアなど新興国と通貨の交換を相次いで解禁した。この背景には、人民元により利便性を持たせ、ドルの基軸体制が揺らいだときに備える狙いと見られる。現在、新興諸国は取引のときの決済手段としてドルを使用している。しかし、ドルが安定しているときに急変すれば思わぬ事態に陥る可能性がある。

要するに、中国は貿易のリスクを減らし、元建て決済を全世界に広め為替リスクを回避しようとしているのであります。そのためには、元を扱う企業の余剰資金の運用のため外資系銀行の債権運用までも規制を緩和しています。6月に元の「弾力化」を宣言しましたが、動き（元相場が高くなっていない）が非常に鈍い。これは国内のインフレなどを回避しようとするのと、貿易の有利性を確保したいのが本音でしょう。

円・ドル・元

日本は米国（トラ）の威をかり、尖閣の問題や数々の問題を解決したく考えていました。しかし沖縄の基地問題など日米をめぐる問題が暗礁に乗り上げ、日米安保の領域に尖閣列島も入っていると消極的な支援しかもらえない状態で、円高に対する日本への同意は極めて消極的であります。また、米国の貿易赤字は増え続け国内景気も良くなっていない状態であります。一方、中国は人民元の柔軟化を6月に打ち出してからわずか2%弱の切り上げになっているだけであります。米国もついに堪忍袋の緒も切れたのか、オバマ大統領は温家宝首相会談をするが、23日に大幅な元の切り上げの求めたものと思われま

上海万博と尖閣列島事件

先日、日本の友人が上海万博へ行きました

前日の午後四時以降発売の前売り券を購入しないと入場出来ないのですが、上海市内での前売り券は8月31日で販売を終了しているため、格安でチケットを購入する為ヤフーオークションで上海万博の入場券を落札しての万博旅行です。今の世の中、本当にネット社会で問題は多々あるものの、使いようによっては便利になりました。

やはりどのパビリオンも3~4時間待ちで、中には客同士お金で順番を譲ってもらうシーンもあったとか・・・尖閣諸島の船長拘束事件で、日本料理店は日本の文字を隠しての営業、中国人による反日デモ・・・。そんな事を考えると無事に帰ってこれるかどうかが心配しておりましたが、ツアーなので何事もなく帰ってきたようです。

上海人の友人はこう言いました、『今回は共産党のやり方が汚いな』中国でニュースを見たけれど『日本政府がこのまま船長を釈放しなければ、中国側も報復する』というような内容で放送の仕方がまるで北朝鮮みたいだったと中国人の友人でも怖かったそうです。

組合スタッフのブログ：<http://ibia.blog6.fc2.com/> コツコツ更新中！



格安航空会社と会社運営

さて、中国で最近話題の『春秋航空』は中国でシェア NO.1 の旅行会社が始めた航空会社です。中国での個人旅行が条件付きで解禁になり、中国→茨城間が 4000 円でのフライトを行っている航空会社です。

茨城に付いた中国人観光客は、空港に着いたその足で東京や大阪へ移動し観光をはじめます。日本の空港側には少し利益があるものの、空港周辺地域にはあまり美味しくない状況になっています。

春秋航空側としては、格安で沢山の旅客を運びたいので座席間は膝を横にして乗る程狭く、ドリンクや食事のサービスは一切ありません。今までは『中国→茨城→東京・大阪→茨城→中国』でしたが、もっとコストを下げるため、次は大阪に近い高松空港を提携視野に置おいているようなので、大阪への中国人観光客は増える模様です。

さて、皆さんはサービスしてくれる航空会社と、4000 円でサービス無しの狭い 2 時間フライトどちらを選びますか？

この春秋航空ですが、ANA も参入した LCC 『ローコストキャリア (格安航空会社)』で急成長した航空会社です。

有名なところでは、アメリカやマレーシアの航空会社ですが、今をときめく中国の航空会社のお話をしましょう。

LCC とは運航ネットワークの規模や多様なサービスを競ってきた従来の航空会社とは異なる戦略で、格安運賃を売り物にしている航空会社の事です。

社長の王さんは、潰れたホテルを改装もなく、レストランだった場所にパソコンを十数台置き殺風景な中業務をしています。廊下という廊下の電灯は全て消し必要な部屋だけ電灯を付け、コストカットには徹底的に力を入れています。また、10 機ある飛行機も全て同じメーカーで、メンテナンス費用にもお金がかからないようにしています。

徹底的なコストカットでより安いチケットを販売してお客様を喜ばせ、沢山の旅客を運んでいるのです。日本の会社で廊下の電灯を消すなんて、カッコ悪くて出来ませんが、見習う所は沢山あるのではないのでしょうか？

同じものを発注するのに、調べもせず高いところに注文していたり、エアコンやトイレの電気が付くっぱなしになっていたり、戸棚を開けると在庫商品が山ほどあったり、現状の日本の会社経営においてこれを見れば改善の余地が沢山あります。

組合スタッフのブログ：<http://ibia.blog6.fc2.com/> コツコツ更新中！



中国情報 (INFORMATION CHINA)

中国式数字の表現

日本は数字を両手で勘定します。中国ではどうでしょうか？百聞は一見にしかず。見てみましょう。

| 日本式 | | 中国式 |
|-----|----|-----|
| | 1 | |
| | 2 | |
| | 3 | |
| | 4 | |
| | 5 | |
| | 6 | |
| | 7 | |
| | 8 | |
| | 9 | |
| | 10 | |

如何ですか？ 違いがお分かりになりましたか？



日本社員と研修生の話(習慣の違い)

日本人なら親指を挙げれば、「男」「素晴らしい」、小指を挙げれば「女」「彼女」の表現であることは誰もが知っています。

あるとき、研修生が友人の社員と人と次のような会話があり喧嘩になりかけました。

社員：「今日はこれか？」（関西弁）と小指を挙げました。

研修生：「バカにしないで下さい、仕事完璧にしています」・・・怒り出しました

社員：「仕事に分かってるけど、どうして怒るんだ？」

・・・研修生が怒り出したことが分からない

研修生：「私をバカにしたじゃないですか」

社員：「バカになんかしていない」

「今日は彼女とデートか」と聞いたただけだよ」

研修生：「小指を立ててバカにしたではないですか」

社員：「小指を立てて何が悪い？」

・・・まだ分からない

研修生：小指を立てるのは「最低ということでしょう。」

社員：「そうなのか・・・日本じゃ小指は、彼女と言う意味だよ」

研修生：「えっ、そうなんですか」

もう少しで喧嘩になるところでした。良かった。お互い理解が出来て。

中国では、親指を立てるのは「素晴らしい」、小指を立てるのは「最低だ」の意味です。

ところ変われば、表現まで変わることがあるのですね。



【投稿募集します!】

中国に関する情報、ご意見、相談、自慢話等々、どんな内容でも結構です。

貴方からのご投稿お待ちしております。匿名やペンネームでもOKです。

投稿先：info@ibia.or.jp (国際ビジネス情報協同組合 新聞編集部)